

第42回

くまもと市民

メインテーマ
「ボランティアの町・うるおいの町」

ボランティア週間

～サブテーマ～ ささえ愛 たすけ愛

【期日】令和5年10月28日(土)

熊本市では、昭和55年から毎年11月の第2週目を「ボランティア週間」と定め、ボランティア活動の啓発・普及を図るために各種事業を積極的に実施してきました。

また、平成15年からは、名称を「熊本市ボランティア週間」から「くまもと市民ボランティア週間」に改めて、今年で42回目を迎えます。

コロナウイルス感染症5類移行に伴い、ボランティア活動が再開していることから11月のボランティア週間に先駆け、各々の活動及び普及活動に取り組んでいただきたく事を目的に、本年度は10月末の開催としました。

ボランティア市民パレード

【行程】新市街辛島町電停前
～下通COCOSA前
10:50～11:30



ボランティア活動への関心と参加意欲を高め、誰もがボランティア活動に参加出来るような地域づくりを推進し、活動の啓発・普及を目的にPRパレードを行いました。

協議会役員を先頭に、熊本国府高等学校と熊本農業高等学校吹奏楽部による演奏に合わせ、九州学院チアダンス部のパフォーマンスに続き関係団体や高校生がパレードに参加してくれました。アーケードの多くの方が、パフォーマンスや演奏に足を止めていました。



街頭募金活動(赤い羽根共同募金)

【行程】新市街・下通アーケード
12:00～13:00

今年も10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」がスタートしました。これまではコロナ禍により、募金運動の活動も自粛・縮小を余儀なくされていましたが、5類移行に伴い、今年4年ぶりの街頭募金活動となることから、ボランティア週間事業の一つとして赤い羽根共同募金街頭募金活動を行いました。

新市街及びアーケードにて、高校生やボランティア団体等のご協力を得て募金活動を実施しました。



熊本城おもてなし武将隊の方々も応援に駆けつけて頂き、街頭募金の参加者へ励ましと感謝の声をかけてくれました。

ボランティア週間 講演会

【会場】市民会館シアーズホーム夢ホール大会議室
14:00～16:00

今回のボランティア週間講演会に、オープニングイベントとして熊本城おもてなし武将隊による演舞と日頃からボランティア活動等を行っている参加者に対して励ましの言葉をいただきました。



講演会では、「ふるさと元気子ども食堂」の代表を務めている宮津航一さんに講演をいただきました。宮津さんは、熊本県立大学の2年生で幼少期に「こうのとりゆりかご」に預けられた当事者である事を公表し、新聞やテレビなど各メディアで活躍されています。今回は、ご自身の経緯や体験を通して「私のボランティア活動」と題して講演をいただきました。男児が餓死する事件を報道で知り、「何か出来ることはないか」という思いが食堂を始めるきっかけであった。また、子どもと地域社会が繋がる場所が必要と感じているなど、話を聞かせていただきました。

